

まちづくり塾2015 第1話 報告書

2015年12月3日発行

テーマは、「地域貢献始めました!!」



7回連続講座（11/05～2/10）の2回目となる11/19（木）、第1話 オープンフォーラム「地域貢献はじめました!!」は、44名の方にご参加頂きました。

第1部は、3企業の方に、地域課題の解決に向けた取り組みの最前線、地域貢献の事例について発表頂き、第2部では、会場からの質問をもとにしたパネルセッションが行われました。

場所	北区社会福祉協議会4F会議室
日時	11月19日（木）19時～21時
参加人数	44名

～事例発表～

株式会社Snailtrack（スネイルトラック）代表取締役 本川誠氏 スネイルトラックは、この町で好かれているか？

社員が、顧客から「ありがとう」を頂き、誇りを持って働くために。朝刊と夕刊の合間にでき、お客様にのぞまれ、自分たちの強みをいかし、地域の役にたてることは何かを考え、いえサポは始まりました。朝日新聞、日本経済新聞等を扱う新聞販売店でありながら、30分500円で、「ちょっと困った」を解決する有償ボランティア「いえサポ」。

従来、お客様との接点は、集金のスタッフが集金時に、顔をあわせる程度であったものが、いえサポをはじめたことによって、お客様とのつながりやコミュニケーションが、スタッフ全体に広がっていき、ありがとうのキャッチボールとともに、沢山の依頼が入るようになりました。

企業活動をする上で地域活動は必須。双方向のコミュニケーション、人間関係の構築があつてこそ。スタッフは意見を出し合い、顧客の多様なニーズにこたえていきます。

「地域で圧倒的な存在になる」ことを目指されている本川社長から、発信力の必要性と地域への愛着、関わり方など、たくさんのヒントが語られました。



新大阪アメニティ・ソサエティ 会長 今井一也氏、事務局 佐々木博史氏 地域とともに繁栄を目指す企業町内会



新大阪周辺の企業等約30社からなる親睦団体（企業町内会）、新大阪アメニティ・ソサエティ。

会員企業の思いと会の思い、企業共同体だからこそその強み、できることをできる形で関わり、その密度の濃さを持続しながら、企業町内会としてのつながりを継続していく難しさの中で、地域と共に繁栄することを目指し、毎月1回のクリーンキャンペーンをはじめ、問題意識の向上を目的とした防災・防犯イベントも続けてこられました。

地域と企業が手を取り合って創る地域像。

会員企業のメリット（フィードバック）や、会費の有効活用など、会が感じる課題のその先には、企業町内会として、地域貢献への無限の可能性を想像させる、そんなお話が伺えました。

セイコー運輸株式会社 代表取締役 宮高豪氏 無機質からハートフルな仕事へシフト

創業は1981年。法人の仕事がメインの赤帽からスタートし、99年に引越し事業に参入するも、市場の6～7割を大手数社が占める現状へ危機感を抱かれます。価格決定権を持ちたい。無機質から、心の通う、人をいかす=強みをいかす仕事へシフトしていきたい。

未開拓市場(ブルー・オーシャン)を模索しながら、宮高社長の思いは、シルバー専門に特化した介護ヘルパーのいる引越し屋、

「シルバー住む一ぶ」へと実を結びます。その後、ノウハウ指導等を重ね、賛同した20社が集まり、全国連携事業（同業者連携）を開始され、さらに、社員の強み×異業種連携が、移動式写真館「フォトすむ一ぶ」へと繋がります。衣装やヘアメイクで、ぱっと明るくなる参加者の表情。

「声をしっかり拾う」「同じ志をもつものが協力し合い、地域の活性化に貢献したい。」宮高社長の挑戦は、地域貢献への新たなビジネスモデルの試行錯誤であり、そのお話には、魅力ある企業となるアイデアが沢山詰まっていました。



りそな総合研究所スーパーバイザー藤原氏による総括は別紙をご参照ください。
まちづくり塾第1話にご参加いただき、ありがとうございました。

お問合せ

北区まちづくりセンター

大阪市北区扇町2-1-27 北区役所3F

TEL:06-6809-1080

FAX:06-6809-1081

E-mail kitamachisen@dream.ocn.ne.jp

HP <http://kitamachisen.jimdo.com/>